# SC-IB Newslet

## ボーイスカウト茨城県連盟情報

2021.09 No.22



http://www.scout-ib.net/

### ☑ 本来のスカウティングへ

COVID-19 の完全な終息までは、ま だまだ時間が掛かかりそうです。その間 ずっとそれに寄り添って生活することの 覚悟を決める時期がきたようです。「新し い生活様式」をスカウト活動に導入するこ とは、これまでの「ボーイスカウトのやり 方」「ボーイスカウトの伝統」としてきた ものについて、頭を切り替え、発想の転 換をして、新たな「やり方」「伝統」を作 り上げていくということです。ボーイスカ ウトは「運動」ですから、時代と共に変 わっていきます。まさに「今」が、その 大きな転換期となりました。

そもそも「スカウト」という言葉には、 自ら道を切り拓いていくパイオニアとい う意味があります。その原動力は自発活 動です。自発活動とは、スカウト自身の 意識と気づきによって、意志を明確に し、自ら活動目標を設けて、それに向け て準備し段取りし、実行するのです。そ うしてものごとを成し遂げていきます。 これが自発活動です。この自発活動に

よってスカウトに有能感が育ち「自信」 につながってきます。また、自発活動で すから、予め作られた「枠」はありませ ん。ですから「型にはまった」といわれ る日本のスカウティングを打破するこ とにも繋がります。

このボーイスカウトの教育には、明確 な目的や基本方針があります(教育規定 を見てください)。しかし、学校でいう ところのカリキュラムはありません。一 見「進歩課程」がカリキュラムなので はないか・・・と思われるでしょうが、 ボーイスカウトの進歩制度は、「自発活 動しの幅を広げ、その質を高めるための ものであって、進歩課目の履修がスカウ ト活動なのではありません(ここを間 違えないでください)。だから班(BS) →バディ (VS) →個人 (RS) というス テップが必要であり、BS の班は自発活 動のモチベーションを高めるために対 班競点が必要になるのです。

そしてとびっきりの自発活動をする

ために、富士スカウトを目指すのです。 富士章取得は、富士スカウトのスタート ラインです。そこから何をどうやるかで 真価かが問われ、やり遂げた結果、真の 頂上に立った富士スカウトと認められ るわけです

さて、現在、コロナ下におけるスカウト 活動は、新しいフェーズに入りました。そ れは、「コロナ対策をしながら、スカウ ティングの本質を忘れずに活動にしてい こう!」です。「活動をやる」ために何を どのように準備し、活動に繋げていけば いいのかを、日連や県連の指示を守る・ 従うだけではなく、**自らの意志で調べ・決** 断して、実行まで持って行き、反省評価 を加えて、更なるより安全で愉しいな活 動を目指していくということです。それを スカウト・指導者・隊・団がそれぞれ、自 らのスカウティングを作り上げていくの です。それがスカウティングの基本精神 である「自発活動」なのです。

### △茨城県連盟は創立 70 周年

70 周年のテーマは

## Catch The Scouting Sprit 三指がつなぐ、ひとつの想い ~過去、今、そして未来へ~

みなさん、ボーイスカウト茨城県連盟は、 今年5月20日に満70歳を迎えました。

正しくは、今から 98 年前の 1923 年(大正 12 年)2月 28日、三島通陽(みしまみちはる:第4代総長)が佐野珖治(さのこうじ: 茨城の初代理事長)の要請に応えて茨城に講演にやってきたところから茨城のボーイスカウトの歴史が始まります。

大正時代から昭和初期にかけて、県内各地でボーイスカウト隊が結成され、昭和6年、佐野の下にそれらの団長が集まり、茨城県連盟が結成されました。しかし、第2次世界大戦のために消滅してしまいました。

戦後間もない昭和22年、佐野はボーイスカウトの復興、県連盟の再興のために立ち上がり、昭和24年、県内には5つのボーイスカウト隊が一斉に発隊しました。それを契機に、県内でも各地で隊が設立されました。

昭和26年3月には、水戸市役所において、 県連盟理事会が開催され、佐野が理事長に、 また、連盟長には、水戸徳川家の御子孫で ある徳川宗敬氏が就任されました。

そして1951年、昭和26年5月20日、 茨城会館において、加盟隊16隊、スカウト 400名で茨城県連盟が再び結成され、この 日を新たな県連の創設日としました。そして、 今年5月20日に満70年を迎えるのです。

茨城県連盟では、令和3年の4月から 翌年3月までの1年間を、連盟創立70周 記念 YEAR として位置づけ、70 周年テーマ「Catch The Scouting Sprit(スカウト精神を掴み取れ!!)三指がつなぐ、ひとつの想い ~過去、今、そして未来へ~」の下に、1 年間をかけた記念プログラムを展開していきます。

70 周記念 YEAR プログラムは、大きく2つから成ります。1つは、全ての団が参加する「TSUNAGU(つなぐ)IB Project」です。これには、団の「昔」と「今」と「未来」をつなぐ『団紹介プログラム』、県内の各団のスカウトを歌でつなぐ『リレーソング・プロジェクト』、後輩たちに森をつなぐ『アケーラの森記念植樹』、スカウティングに関わる人をつなぐ『70 周年表彰』、スカウトと保護者をつなぐ『70 周年記念「IB グランプリ 2021」県大会』です。

2つめは、任意参加の「70周年プロジェクト」です。これには、『70周年の歌、茨城県連の歌を作るプロジェクト』『70周年記念B-Pのココロに触れる旅プロジェクト』、『地域へのアピール、体験活動プロジェクト』『ボーイスカウトに入って良かった作文コンテスト』『ボーイスカウト活動紹介PVの作成プロジェクト』『自発活動推進プログラム』等が実施されています。

そして、8月には、昨年コロナで延期となった第20回茨城県キャンポリーがよていされていましたが、残念ながら今年もコロナで断



念せざるを得ませんでした。、11月には、土 浦市霞ヶ浦総合体育館(水郷体育館)(予 定)において、県連創立70周年記念式典を、 県連の全加盟員を一堂に会して実施する予 定です。また、これまでの茨城県連の70年 を振り返った記念誌の編纂も行います。

70周年テーマ「Catch The Scouting Sprit 三指がつなぐ、ひとつの想い ~過去、今、そして未来へ~」の「つなぐ」には「未来」「希望」「絆」「可能性」「持続Sustinable」の意味が込められています。具体的には・・・

- ●県内全てのスカウト・指導者の気持ち とココロを「今」つなぐ
- ●先人達が紡いできた茨城のスカウティングの歴史と思いを受け取り、これからのスカウトや指導者たちにつなぐ
- ●私たちを取り巻く地域社会と、スカウ ティングをつなぐ
- ●日本中、世界中のスカウトと茨城のス カウトとをつなぐ
- ●進取の気性に富んだ茨城のスカウトのココロ・精神を継承し、次代につなぐという私たちが「今」行っていくミッションもまた示しているのです。皆さんと力を合わせて、素晴らしい70周年を作り上げて行きましょう。

#### ● 70 周年記念 YEAR プログラム一覧

, 14 Thoras 11 To - 2 Do - 30					
プロジェクト名称	対 象	PJ 開始	PJ 終了	成果発表、実施等	
団紹介プログラム	全団	4月	8月末	式典、記念誌	
リレーソング・プロジェクト	全団	4月	8月末	式典、記念誌	
70 周年アケーラの森記念植樹	全団	4月	5月GW	団にて苗木用意、キャンプ場に植樹	
70 周年表彰	全団、他	7月	9月末	式典	
「70 周年の歌」「茨城県連の歌」	公募	1月	7月末	式典、記念誌	
70 周年記念「B - Pのココロに触れる」P	公募	4月	終了時	コロナ収束後に実施	
70 周年記念 IB グランプリ 2021	全団	4月	9月中旬	地区決勝9月中旬、県大会(式典)	
野口宇宙飛行士と ZOOM でお話をする P	選抜	4月	式典当日	式典会場にて	
地域へのアピール、自然体験活動 P	任意	4月	年度末	団・地区にて実施	
ボーイスカウトに入って良かった作文コンテスト	公募	4月	8月末	式典、記念誌	
ボーイスカウト活動紹介 PV の作成 P	公募	1月	8月末	式典、記念誌	
自発活動推進プログラム	全団	4月	年度末	団・地区にて実施	

☑ 2021 スカウトの日 SC○UTS for SDGs

毎年9月の敬老の日(第三月曜日)を「スカウトの日」と定め、全国のスカウトや指導者が地域社会への奉仕活動をはじめとする様々なスカウト活動を全国の各地域において一斉に展開し、加盟員一人ひとりが地域社会に貢献することを目的に実施しています。加えて、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールする機会として取り組んでいます。

持続可能な社会を目指して、自分たちができることから取り組むことで、みんなで地球を大切にする取り組む「スカウトの日」の活動は、昭和49年のシニアースカウトフォーラムでの『より良い社会を目指して、スカウトは何をすべきか』の取り組みから始まりました。

スカウトの日は、テーマである「I Lovr the Earth.」のもと「日日の善行」の一環として 持続可能な社会を目指して、自分たちができることから、みんなで地球を大切にする取り組みを行っています。地域清掃や植林活動、社会福祉施設の訪問など敬老の日にちなんだ活動、人権・平和・国際理解をテーマとした活動、地域のニーズによる地域の方々と共に行う身近な奉仕活動、また、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するための活動などが、積極的に行っています。

茨城では、コロナ下であっても、22の 団で、613名のスカウト、指導者、そして スカウトの家族や関係者が、スカウトの 日に関する様々な活動に取り組みました。





## □ アケーラの森植樹プロジェクト



この植樹は、70 周記念 YEAR プログラムの全ての団が参加する「TSUNAGU(つなぐ)IB Project」の 1 つで、団の将来の「夢」を乗せて「団の木」を用意し、後輩スカウトたちにつなぐプロジェクトで、土浦キャンプ場内にあるカブ隊用キャンプ場「アケーラの森」に植樹をしました。

この木の成長に団の成長を重ね、日立グループの CM「この木なんの木」の歌詞にある

♪いつか葉が繁って 幹が大きく育って 根を広げて 森になる日が未来 その日を その日を みんなで待ちましょう 夢見て 夢見て その日を待ちましょう

人は来てたたずみ 鳥は翼を休めて 風はそよぎ 星が回れば宇宙 その日も その日も あなたに会いましょう この木の この木の 下で会いましょう♪

を実現すべく、その日を目指して着実に団を運営していこう・・・というものです。

当初は令和3年4月末から実施する予定でしたが、コロナ感染症まん延により、6月13日~7月25日に延期して、参加団312団の代表スカウト・指導者によって実施されました。

植樹位置	団 名	樹種
30	日立第 5 団	火打谷菊桜
24	日立第 7 団	もみじ
9	日立第8団・北茨城第1団	アンズ
28	水戸第2団	桜(染井吉野)
31	水戸第4団	紅華桜
17	水戸第5団	オリーブ
26	水戸第8団	くぬぎ
27	ひたちなか第 1 団	いちょう
23	城里第 1 団	紅葉
18	桜川第 1 団	サクラ
6	笠間第2団	桜
2	筑西第 1 団	ハナミズキ
3	坂東第 1 団	ハナミズキ
16	古河第 1 団	ハナモモ
11	石岡第2団	桜
14	石岡第3団	桜
19	神栖第 1 団	桜
1	つくば第 1 団	ろうばい
20	つくば第3団	ふくれみかん
10	土浦第3団	桜
12	土浦第 5 団	桜
21	牛久第 1 団	福来みかん
29	牛久第2団	桜
25	牛久第 4 団	カツラ
22	阿見第 1 団	みかん
7	利根第 1 団	河津桜
13	取手第 1 団	くり
5	取手第3団	さくら
8	守谷第 1 団	アサヒヤマザクラ
15	龍ヶ崎第2団	桜
32	県 連 盟	やまぼうし
33	キャンプ場開拓チーム	びわ



### ☑ COVID-19 への茨城県連盟の対応と取り組み

#### ● COVID-19 への取り組み

#### 《2020年2月20日》

政府から、新型コロナウイルス感染拡大 防止の観点からイベント開催への協力が呼 びかけられる。

#### 《2月21日》

日本連盟から「新型コロナウイルス感染への対応について(緊急・第1報)」が発出され、日本連盟では自らの事業のみならず、各県連盟の諸事業、団・隊による活動についても、各主催側で政府方針に基づいた対応をすることとした。

#### 《2月25日》

政府から基本方針が発表され、日本連盟から「新型コロナウイルス感染への対応について (第2報)」が発出された。県連盟では、県連、地区、団・隊で2週間以内に予定されている事業 (会議、行事)を自粛することとし、中止または延期することとした。

#### 《3月3日》

2月28日に政府から、全国全ての小・中学校等に対し「3月2日から春休みに入るまでの間、臨時休校を行う」との通達があり、日本連盟から「新型コロナウイルス感染への対応について(第3報)」が発出された。

県連盟では、3月22日での活動の自粛 (中止または延期)とし、自粛期間以降の活動について、県連盟だけでなく、団において予定している集会、行事などの確認と対応の徹底するよう指示した。

#### 《3月9日》

県連盟では、学校に行けない、そして活動ができないスカウトに対して、「やってみよう」というタイトルの各自で行うプログラムの提供を県連ホームページでいち早く開始した。対象はビーバーから指導者までで、7月25日の終了までに全69プログラムの提供を行った。

#### 《3月21日》

日本連盟から「新型コロナウイルス感染への対応について(第4報)」により、活動自粛期間が4月5日まで延長され、地域の感染状況により、感染への対策措置を講じての活動が一部実施可となった。

#### 《3月26日》

日連の第4報を受けて、県連盟では、具体的な活動再開にあたっての注意を記した「活動自粛期間中の団・隊活動について」を各団に送付した。

#### 《4月3日》

日本連盟から「新型コロナウイルス感染への対応について(第5報)」により、活動自粛期間が5月6日まで延長された。

#### 《4月13日》

茨城県から平日・休日を問わず、不要不 急の外出自粛が求められ、県連事務局がテ レワーク、指導者研修も自粛となった。(指 導者研修は9月から再開)

#### 《4月14日》

県連盟では、活動ができない団・隊・班 ・組に対して、「やってみよう2」という活動 プログラムを県連ホームページで開始した。 7月25日の終了までに全15プログラムを 作成し提供した。

#### 《5月6日》

全ての県連盟において、5月31日まで全 ての活動を自粛するよう、日本連盟からの 通達があった。

#### 《5月15日》

政府からの緊急事態宣言が(茨城は) 解除された。

#### 《6月4日》

日連から、活動自粛から「新しい日常に むけて(今後の取り組み)」が提示され、 宿泊を伴わないスカウト活動が条件付きで 再開となった。

#### 《6月5日》

県連から、活動再開に向けた「茨城県連における新型コロナウイルス感染症による活動自粛からのスカウト活動再開のためのガイドライン」(5月から検討)を各団に送付し、新しい生活様式を取り入れた活動の方向性を示した。

#### 以下、

①スカウト活動のためのガイドラインは

6/6 Ver.2

7/4 Ver.3

7/10 Ver.4

8/1 Ver.5

② with コロナにおけるスカウト活動ガイドライン (①の名称変更) は

8/31 Ver.6





#### ボーイスカウトでは、

- 1. 地域の感染拡大状況を注視し、スカウトたちの安全を第一に考えた活動を行う。
- 2. 活動内容の変更や延期、中止を視野に入れ、地域社会における感染拡大のリスクを高めないように努める。
- 3. 関係者全員(スカウト、指導者、ご家庭など)が、「新しい生活様式」の徹底に努める。 の3つを基に、「創意工夫」と「そなえよつねに」でスカウト活動を推進しています。

※「そなえよつねに(備えよ常に)」はボーイスカウトのモットーです。

11/11 Ver.6.1 11/30 Ver.6.2

と版を重ねている。

#### 《6月9日》

自粛となっている指導者訓練が9月1日 から再開との通知が届く。それに向けて、オンラインでの研修や参加申込についての検 討が開始された。

#### 《7月10日》

宿泊を伴ったスカウト活動が条件付きで 再開された。

#### 《8月18日》

日本連盟から3つの指針「講義形式の 指導者集合訓練の運営方針」「テント泊を 伴う指導者集合訓練の運営方針」「宿舎泊 を伴う指導者集合訓練の運営方針」が出さ れた。

#### 《8月23-24日》

3つの指針を受けて、指導者訓練再開に向けて、コミッショナー、トレーニングチーム等により、with コロナにおける指導者研修を実施するための実証を行った。その結果を「with コロナにおける指導者研修の進め方」としてまとめ、関係者に周知した。

#### 《9月6日》

再開された指導者研修の第一弾として「第63回ボーイスカウト講習会」が土浦青少年の家で実施された。以後11月中旬まで順調に開催されたが、感染拡大の第三波により、11月下旬からの12月末まで、再び自粛となった。

#### 《11月25日》

活動の可否判断は、団において地域の感染拡大状況、保護者の意見、指導者の意見を十分に考慮し、団会議、団委員会で慎重に検討の上、活動についての判断となっているが、この指標を明示した。

#### 《2021年3月》

第4波が収まり、活動の自粛が緩和されたが、本来の対面・集合活動は未だできなかった。県連の行事・研修も再開された。

#### 《2021年4月~》

新年度となり、コロナは一進一退状態であった。指導者研修はコロナ蔓延前にできるだけ行うという過密スケジュールで実施したが、施設管理者の意向もあり、スケジュール通りにはなかなかいかなかった。

#### 《2021年7月下旬~》

第5波の到来により政府から緊急事態宣言が発令され全ての活動が中止となった(9月末に解除)。11月21日に予定していた70周年記念式典も、先行き不透明なことから2022年2月23日にオンラインで実施するとした。

#### ● 我々の意識改革

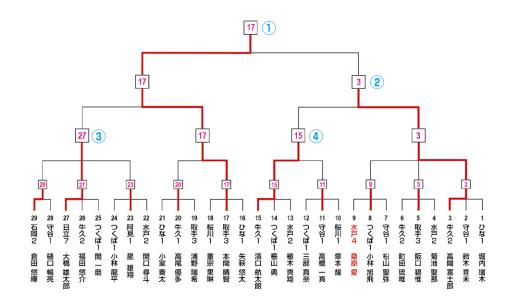
COVID-19により、社会生活そのものの 在り方が大きく変わってしまった。ボーイス カウトの活動は3つの密での活動が多いた め、この短期間の大きな変化は、活動への 戸惑いと不安を募らせることとなった。

しかし、ボーイスカウト活動の基本方針は変わらない。スカウトは、自ら道を切り拓いていくパイオニアだから。新型コロナ対策への十二分な理解と対処方法、特に活動現場での具体的な状況対応について、確実に理解し・把握し、実践していくことはわたしたちの「務め(DUTY)」以外の何物でもない。その意志と自覚をもって、今まで以上に楽しく、実のある活動を行っていこう。

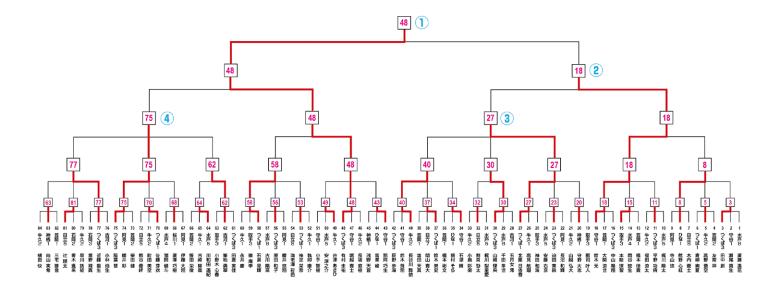




## ● IB-GP 2020 ビーバースカウト部門



## ■ IB-GP 2020 カブスカウト部門





#### SC-IB Newsletter

SC-IB (Scouting Ibaraki) Newsletter 2021年9月号 通算22号

2021 (令和3) 年9月発行

発行 日本ボーイスカウト茨城県連盟事務局

〒310-0034 水戸市緑町 1-1-18 茨城県立青少年会館 3F

- ※ SC-IB Newsletter は、不定期で発行しています。
- ※ SCOUTING 茨城に掲載されている写真・文章等は著作権法等により保護されています。著作権者に無断の複写・転載は堅くお断りいたします。